

袋井市の幼稚園 コミュニティ・スクール ～地域とともにある園づくり～

令和 3 年 9 月 1 0 日

静岡県袋井市教育委員会
深谷 初女

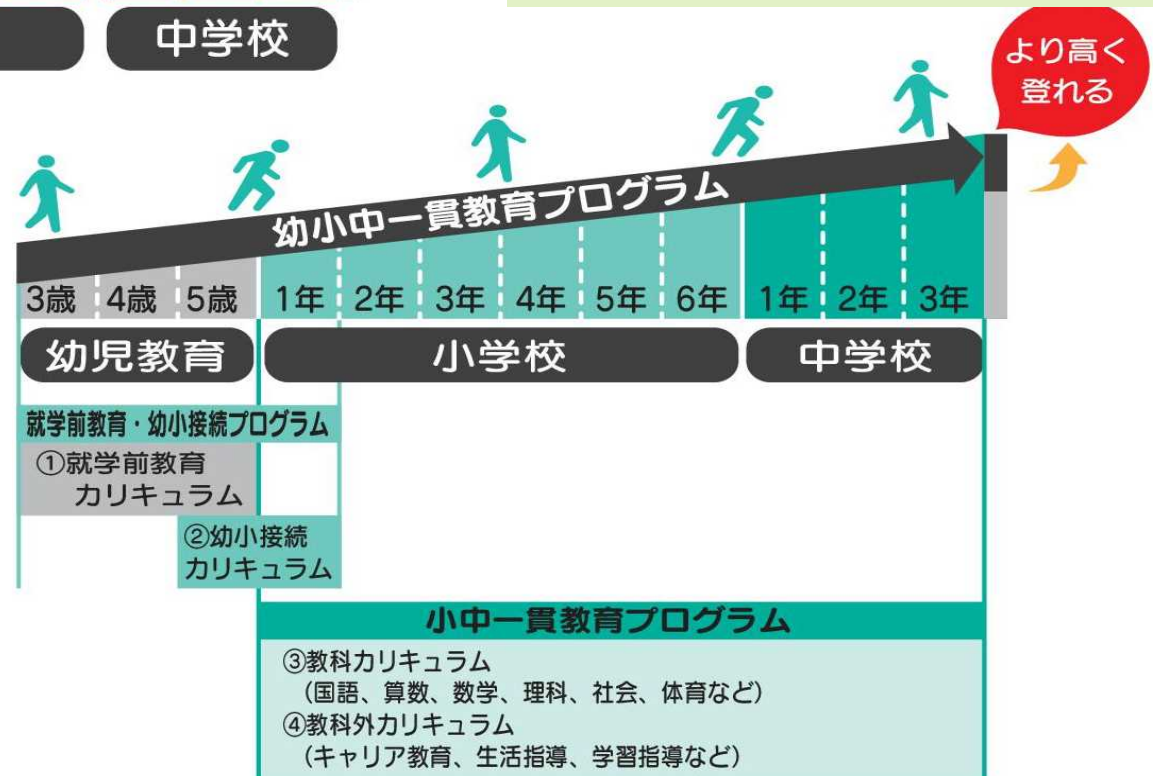


キャラクター「フッピー」

幼小中一貫教育



小・中学校が目指す子ども像を共有し、
幼児教育（3～5歳児）を含めた
12年間の教育プログラムを構成し、
系統的かつ効果的な教育を目指します



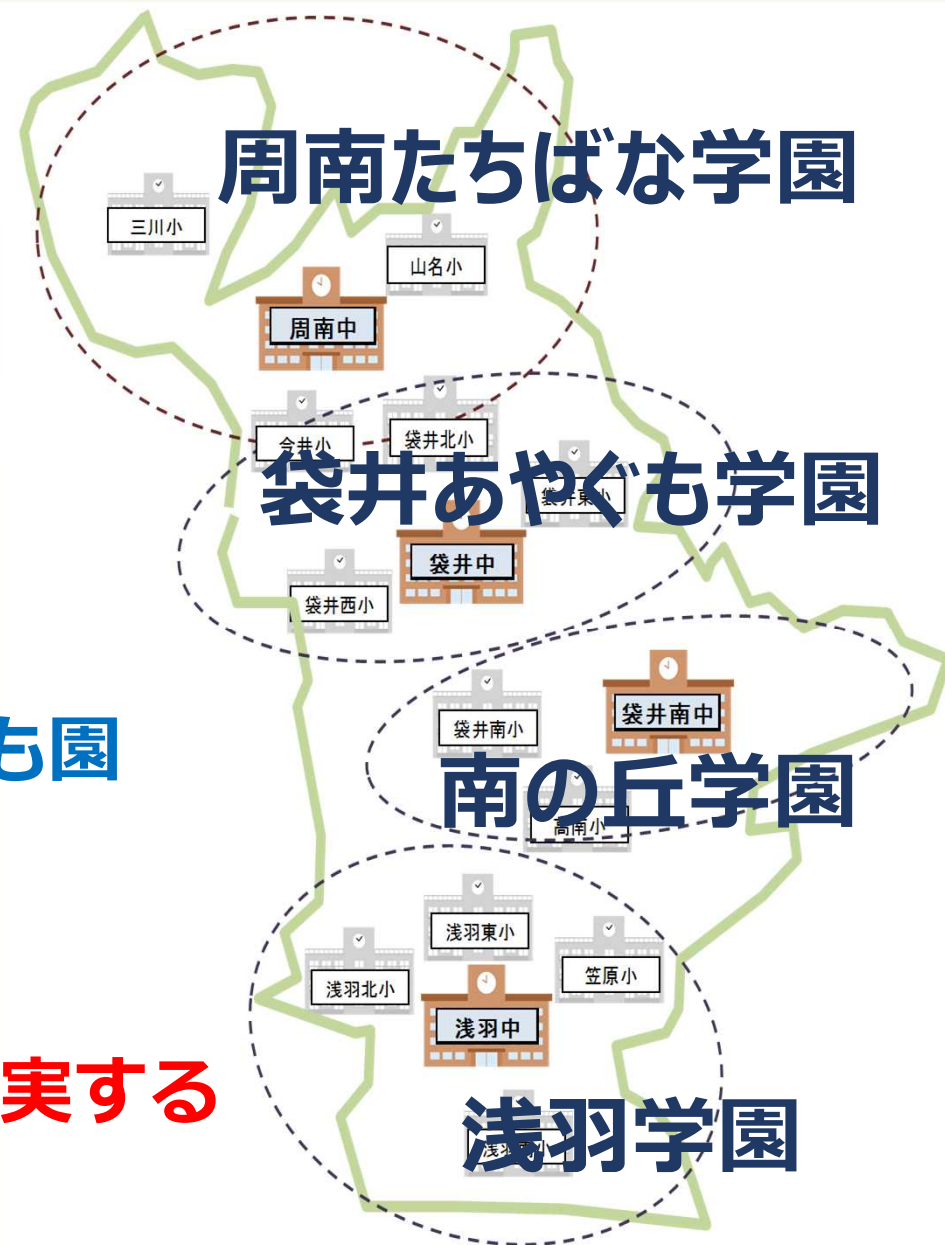
速やかな体制づくり

現行施設で
施設分離型の
一貫校を形成

+

幼稚園・保育所・こども園

4 中学校区（学園）で
現在の連携の取組を充実する



コミュニティ・スクール導入の経緯

平成27年度

小中学校運営協議会導入について提案

平成28年度

小中学校運営協議会設置

平成29年度

幼稚園運営協議会導入について提案

平成30年度

市内公立2園をモデル園として設置

令和元年度

市内15園すべてに設置



コミュニティ・スクール導入の経緯

地域とのつながりが強い本市においては、
地域から様々な支援や協力をいただいている。

読み聞かせ

環境整備

専門的人材

交通安全・防犯

保育参加

サークル

「園の応援団」の方々に幼稚園運営協議会に
参画していただくことで、園と地域が目指す
目標、課題、成果等を共有し、「魅力ある園
づくり」を協働して進めるようにした。

コミュニティ・スクール導入の背景

- (1) 地域住民、園が情報や課題を共有し、
同じベクトルで教育活動を進めて幼児の
生きる力を育成するため、保護者と地域
が進めていく必要がある。
- (2) 社会情勢の変化と共に課題が多様化する
中、園のみでの対応が難しい状況になって
きている。家庭や地域社会における教育の
充実を図るとともに、社会の幅広い教育機
能を活性化していく必要がある。

コミュニティ・スクール導入の背景

- (3) 教員・保育士等の対応の多様化による勤務負担が課題となる中、**教材研究や適切な保育環境について考慮する時間の確保**が必要である。
- (4) 少子化や高齢化の影響により、地域コミュニティの活動が減退傾向にある中、**地域の実情に応じて園を活かしたコミュニティづくり**が必要である。



学校運営協議会の主な役割

- (1) 園経営計画に関すること（承認）
- (2) 教育課程編成に関すること（承認）
- (3) 園運営についての評価に関すること
- (4) 教育活動への支援に関すること
- (5) その他園長が必要と認めること



運営協議会ではこれらのことについて、園長や教育委員会に意見を述べることができます。

組 織

〈園運営協議会〉

〈園〉

袋井市
教育委員会
(行政)

委員
任命



意見
要望



家 庭

協力



協力
依頼



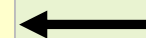
- ・ 園長
- ・ 学識経験者
- ・ 自治会代表
- ・ P T A代表
- ・ 行政関係職員
- ・ 小学校長
- ・ コミュニティ
センター長
- ・ ボランティア
代表
- ・ 地域住民
- ・
- ・
- ・

専門部会

園評価部会

支援部会

説明



承認
評価



説明
協力
依頼



意見
協力



園運営の
基本方針

園 運 営

教育活動



取組（活動事例：幼稚園）

保育参観から企画した体験へ



小学生の体験を提供



コミュニティセンター
の活動体験



協議会委員 P T A 会長の声掛けで
コンクリート壁が夢のある壁に

取組（活動事例：学園）

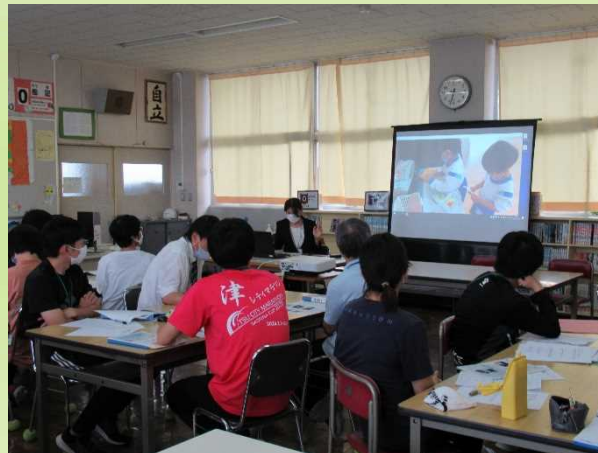
学園で
協議会委員が
防災について
協議し合う



小中教員が保育参観



幼教員が学園で説明



幼小中を共に支援



取組（評価を改善に活かす）

園の評価

幼小中一貫の評価

7)※職員数(203)

保護者世帯数(1,30

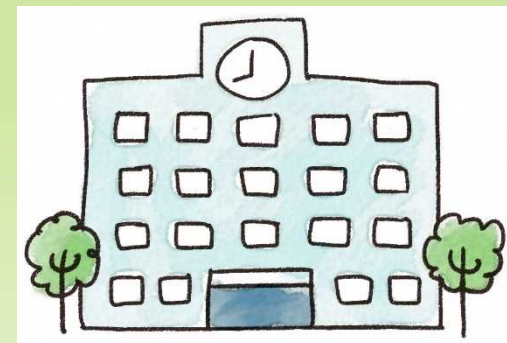
「幼小中一貫教育」の目標と評価指標

対象	具 体 的 な 質 問	令和3年度 (7月)		令和3年度 (12月)		令和2年度 (7月)		令和2年度 (12月)	
		(%)	前回 との 比較	(%)	前回 との 比較	(%)	前回 との 比較	(%)	前回 との 比較
保護者	わが子は、園のきまりを意識し、守っています。	86.1	2.9% ↓			89.0	2.5% ↑	88.9	0.1% ↓
教職員	園は、子どもたちへ園の決まりを丁寧に指導し、取り組んでいます。	99.5	0.5% ↓			100.0	3.0% ↑	99.0	1.0% ↓
保護者	家庭では、テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを子どもと決めています。	79.8	2.0% ↓			81.8	0.9% ↓	85.1	3.3% ↑
教職員	園は、子どもたちにテレビを見る時間やゲームをする時間などの約束の必要性に気付かせる取組を行っています。	73.8	2.2% ↑			71.6	26.0% ↓	81.0	9.4% ↑
保護者	家庭では、生活習慣を身に付けるための取組を行っています。	93.8	3.2% ↓			97.0	2.3% ↑	96.7	0.3% ↓
教職員	園は、園の課題解決のために地域の協力が得られやすくなっています。	94	2.7% ↑			91.3	1.0% ↓	91.9	0.6% ↑
保護者	家庭では、子どもの個性を認め、日頃から子どもと会話をしています。	96.1	3.9% ↓			100.0	0.7% ↑	99.9	0.1% ↓
教職員	私は、発達課題を捉えて一人一人を大切に保育をしています。	97.5	1.3% ↑			96.2	1.4% ↓	97.1	0.9% ↑
保護者	園には、信頼できる先生がいます。	95.8	0.6% ↓			96.4	1.7% ↓	100.0	3.6% ↑
教職員	園では、集団という環境を活かし、一人一人のよさを伸ばす保育を進めています。	99.5	3.2% ↑			96.3	1.9% ↓	98.6	2.3% ↑
保護者	家庭では、子どもが自分で考えて行動するよう見守り、支えています。	89.7	5.6% ↓			95.3	2.7% ↑	96.8	1.5% ↑
教職員	園は、「思考力の芽生え」を意識した保育を行っています。	100	5.8% ↑			94.2	2.8% ↓	97.6	3.4% ↑
保護者	家庭では、健康に留意し、親子で体を動かして遊ぶ運動遊びに取り組んでいます。	84.6	3.8% ↓			88.4	6.3% ↑	92.5	4.1% ↑
教職員	園は、「早寝早起き朝ご飯」の大切さを知らせ、いろいろな運動遊びに取り組めるような環境を工夫しています。	90.1	3.1% ↑			87.0	8.2% ↓	95.7	8.7% ↑
保護者	幼稚園・保育所は、避難訓練や防災など、子どもの安全危機管理指導の取組を行っています。	96.6	3.4% ↓			100.0	1.7% ↑	99.6	0.4% ↓
教職員	幼稚園・保育所は、防災計画や危機管理マニュアル等により、子どもの安全管理指導をしています。	98	0.1% ↓			98.1	0.7% ↓	93.8	4.3% ↓
教職員	同じ中学校区の教職員が、15歳の姿を意識し、連携して指導を行っている。	93.5	15.6% ↑			77.9	17.9% ↓	86.7	8.8% ↑

目標Ⅰ 教育課題を改善する							
		対 象	項 目	H30	R 1	R 2	R 5 (目標)
重点指標	1	子ども	学力調査で全国平均を上回る科目の割合	小0% 中0%	小0% 中100%	中止	100%
	2	子ども	「自分には、よいところがある」と肯定的に思う児童生徒の割合	小85% 中81%	小84% 中78%	小75% 中83%	小95% 中95%
	3	子ども	小中学校における不登校児童生徒の割合 (1,000人当たりの不登校児童生徒の数)	小8.6人 中36人	小8.0人 中43人	小11人 中62人	小4人 中30人
	4	子ども	小中学校における問題行動の発生件数 (1,000人当たりの問題行動の発生件数)	小37件 中79件	小47件 中72件	小41件 中56件	小10件 中30件
関連指標	①	教師	基礎学力の定着（学力保障）を意識した指導を行っている。	小40% 中28%	小42% 中36%	小44% 中38%	
	②	子ども	授業に主体的に取り組んでいる	小45% 中24%	小39% 中41%	小38% 中47%	
	③	子ども	授業がよく分かる	小37% 中41%	小43% 中38%	小46% 中35%	
	④	子ども	家で自分で計画を立てて勉強している。	小25% 中15%	小30% 中15%	小32% 中27%	
	⑤	子ども	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている。			小40% 中25%	
	⑥	保護者	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを子どもと決めている。	小22% 中15%	小24% 中15%	小27% 中14%	
	⑦	子ども	人の役に立つ人間になりたいと思う。	小73% 中72%	小70% 中78%	小72% 中74%	
	⑨	教師	一人一人を大切に指導（居場所づくりと絆づくり）を行っている。	小54% 中34%	小53% 中47%	小56% 中42%	
	⑩	保護者	子どもの個性を認め、日頃から子どもと会話をしている。	小45% 中39%	小49% 中45%	小50% 中46%	
	⑪	子ども	学校が楽しい	小53% 中53%	小54% 中55%	小56% 中53%	
	⑫	子ども	みんなで何かをするのは楽しい	小67% 中61%	小66% 中66%	小66% 中68%	
	⑬	子ども	新規不登校生徒数（中学校）	56人	62人	50人	
	⑭	子ども	学校のきまりを守っている。	小43% 中63%	小51% 中77%	小48% 中72%	

取組（学校とのつながり）

- ・ 幼稚園、小中学校の協議会委員の併任
- ・ 幼稚園が小中学校の運営協議会に参加
- ・ コミュニティ・スクールディレクターが小中学校のみならず幼稚園まで困りごと等へのコーディネート
- ・ 地域の子どもを育てる



成果と課題

成果

- ・地域における園の応援団の方々に参画いただいたことで、気軽に相談ができる体制ができている。
- ・積極的に教育支援に入っていただき、園と共に活動している。
- ・地域で得た情報や休日の施設の状況など、必要な情報を速やかに伝えてくれる。
- ・保育を公開（私立も巻き込んで）し、どの様に工夫しているかなど、地域や小中も含めて参観してもらうことで、より理解や協力を得ることができ、質の向上にもつながっている。

課題

- ・委員（充て職等任期が短い）の固定化。年齢層が高い。
- ・多方面で柔軟な意見が出る協議会としていきたいため、様々な立場の方の参画を望む。
- ・地域として、さらに学園全体の協議会が発展するとよい。

ご清聴ありがとうございました。



人も自然も美しく活力あふれる 日本一健康文化都市

ふくろい

〒437-8666 静岡県袋井市新屋1-2-1

すこやか子ども課 0538-86-3332

E-mail : sukoyaka@city.fukuroi.shizuoka.jp

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp>